

超音波式加湿器

UHM-280C / UHM-280CM

取扱説明書

もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	2
使用上の注意	8
各部の名称	9

取り扱いかた

リモコン	10
準備	11
使いかた	13
お手入れ	14

こんなときには

故障かな？と思ったら	16
仕様	19
保証とアフターサービス	19
保証書	裏表紙

保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用の前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

安全上の注意

はじめに、この「安全上の注意」をよく読んで、正しく使用してください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号
です。



禁止を示す記号
です。



必ず行うことを示す
記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う
おそれがある内容を示しています。



- 屋外で使用しない
火災の原因になります。



プラグを抜く

- 異常・故障時には、ただちに使用を中止し、電源を切り、
電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。

〔異常の例〕

- 異常な音やにおいがする
 - 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
 - 使用中時々電源が切れる
 - 触れるとビリビリ電気を感じる
- ➡ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお
問い合わせください。



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。
修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理について
は、お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的にとる
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



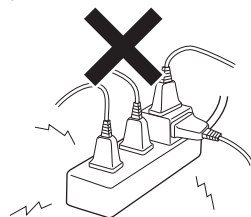
- 電源コードをたばねて使用しない
火災の原因になります。電源コードは必ずのばして使用してください。

- 電源コードを傷つけない
- 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものをのせる、挟み込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。

- 交流100V以外では使わない
- コンセントや延長コードなどの定格を超える使いかたをしない
火災の原因になります。

- 乳幼児にプラグをなめさせない
けがや感電の原因になります。



安全上の注意 つづき



- スプレーをかけない（殺虫剤・整髪料・潤滑油など）
- 引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナーなど）、火の気のあるもの（たばこ・線香など）、可燃性のもののそばで使わない
- 油煙の舞う場所や近くで使用しない
発火・火災の原因になります。



- すき間や吹き出し口から指や金属などの異物を入れない
感電やけがの原因になります。



- 子どもなど取り扱いに不慣れな人だけで使わせたり、幼児に触れさせたりしない
感電・やけど・けがなどの原因になります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生する内容を示しています。



火気禁止

- 火気・暖房器具などに近づけない
- 可燃性のものや火のついたたばこ・線香などを近づけない
発火・火災の原因になります。



- 製品の上に乗ったり、寄りかかったり、ものを置いたりしない
転倒によるけがや火災の原因になります。



プラグを抜く

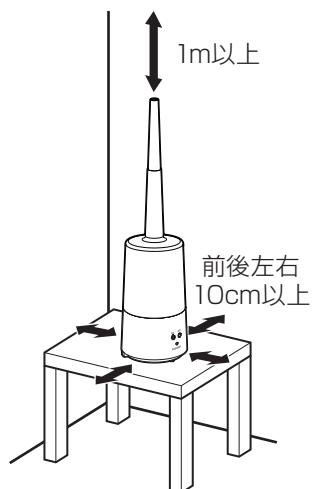
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
火災・感電の原因になります。

設置について



- 加湿された風が、壁や家具、カーテン、電気製品などに直接当たらないところに設置する
- 設置の際は、壁・家具・カーテンなどから図に示す距離を空ける

家具や壁、カーテンなどの汚損の原因になります。また、電気製品に結露したり水のミネラル分が付着したりすると、電気製品の故障の原因になります。吹き出し口は、家具や壁、カーテン、電気製品などの方向へ向けないでください。



- 水平で安定した台の上で使用する

毛足の長いカーペットやふとんの上などに設置すると、転倒して周囲の汚損の原因になります。また、床濡れのおそれがありますので必ず台の上に設置してください。

また、不安定な台や、高いところに設置すると、落下してけがや家財の破損の原因になります。



- 暖房機・テレビ・ホットカーペットなど電気製品の上に設置しない

転倒すると水がこぼれ、火災や電気製品の故障の原因になります。



- 水タンクやトップカバーを正しく取り付ける
 - トップカバーは必ず取り付けて使用する
- 水もれや周囲の汚損の原因になります。



- 吸気口や吹き出し口をふさがない
- トップカバーの吹き出し口をタオルやカーテンでふさがないでください。また、底面の吸気口がふさがれないよう加湿器の下にシートやマットを敷かないでください。水もれや過熱の原因になります。

安全上の注意 つづき

水タンクの水について



● 毎日新しいものに取り替える

水タンクは毎日振り洗いし、常に清潔にしてください。古い水を使用すると、異臭を発したり健康を害する原因になります。

● 1週間以上使用しない場合は、必ず水タンク及び本体内の水を捨てる

水が入ったまま放置すると、異臭や周囲の空気の汚れの原因になります。

● 凍結しそうなときは、水タンク及び本体内の水を捨てる

凍結すると、故障・水もれにより周囲の汚損の原因になります。



● 水道水以外は使用しない

40℃以上の水・化学薬品・芳香剤（アロマオイルなど）・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水などは使用しないでください。かびや雑菌が繁殖しやすくなったり、変形・ひび割れ・変色などをおこして水もれや周囲の汚損の原因になります。



● 水タンクに水が入ったまま移動しない

水タンク・本体内部に水が入った状態で移動すると、斜めになったときに水がもれて周囲の水ぬれの原因になります。
移動するときは、水タンク・本体内部の水を捨ててください。

● 転倒させない

水もれや火災の原因になります。
転倒して水がもれたときは、十分に乾燥させ、安全を確かめた上で使用してください。
万一電源が入らない場合は、アイリスコールにご連絡ください。



● 移動するときは、本体を下から持つ

水タンクを持つと、外れて落下するおそれがあります。ただし、水が入っているときは移動しないでください。

電池について



- 電池を入れるときは、極性表示（プラス+とマイナス-の向き）に注意し、説明書の通りに正しく入れる

間違えると、破裂・液漏れにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になります。

- 長時間使用しないときは電池を取り出しておく

液が漏れて、火災やけが、周囲の汚損の原因になります。

液が漏れた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。万一、漏れた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。



- 分解しない

皮膚や衣服を損傷することがあります。



- 金属製の小物類と一緒に携帯・保管しない

ショートして液漏れや破裂の原因になることがあります。

- 指定以外の電池は使用しない

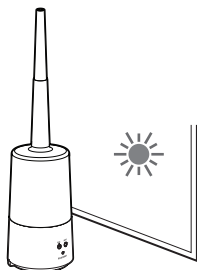
破裂・液漏れにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になることがあります。

- 絶対に充電しない

破裂・液漏れにより、火災・けが・やけどの原因になります。

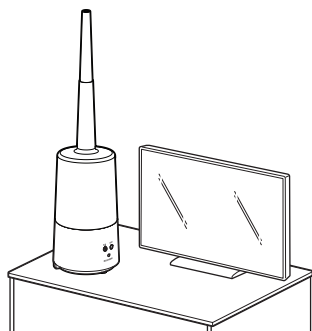
使用上の注意

- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くで使用しない
変形・変色したり、誤動作することがあります。



- ベンジンやシンナーで拭いたりしない
破損・故障の原因になります。

- ラジオやテレビに近づけない
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。



- スピーカーやIH調理器（電磁調理器）など磁気の出る機器の近くには置かない
正常に動作しないことがあります。

使用環境について

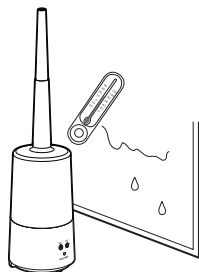
- 室温は5～35℃で使用してください。

室温が低いと床ぬれや結露がおこりやすくなります。電源ボタンでこまめに加湿量を調節したり、室温を上げたりして使用してください。

また、窓際や冷気の影響を受けやすい壁などは、定期的に結露を拭き取るなどして使用してください。

- 加湿のしすぎによる床ぬれや結露に注意してください。

本製品は自動で加湿を調節できません。部屋の環境に注意しながら、こまめに加湿量を調節してください。



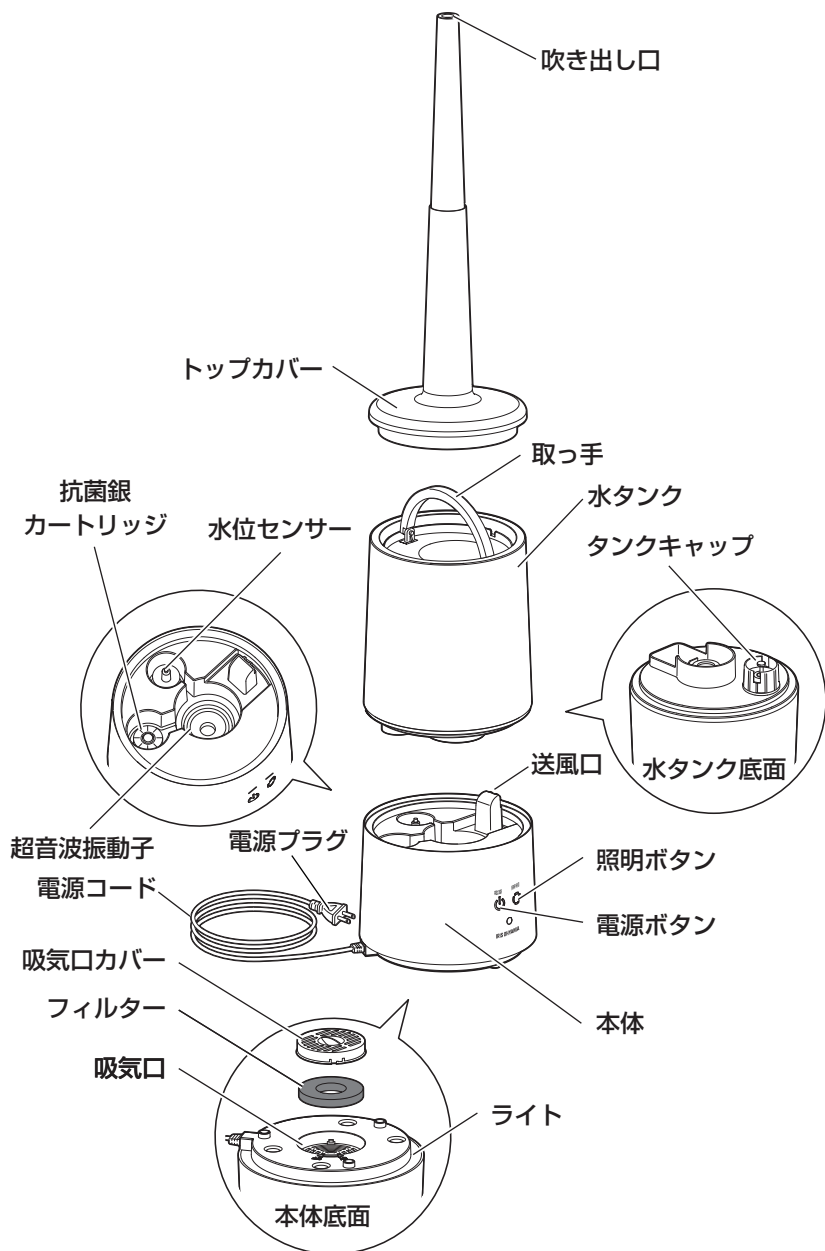
廃棄について

- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

注意

- 初めて使用するとき、超音波振動子付近に黒っぽい粉が出ることがあります。これは、抗菌銀カートリッジの銀化合物が輸送などで付いたものです。超音波振動子に黒っぽい粉が出たときは、「お手入れ」を参照して超音波振動子を掃除してください。

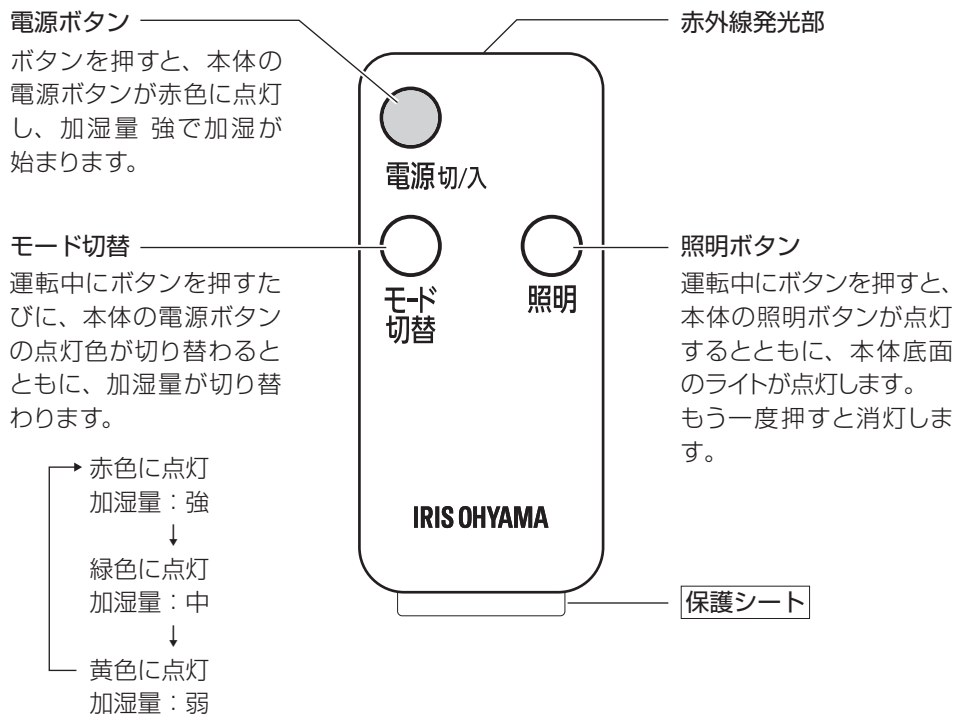
各部の名称



リモコン

※ 使用開始前に電池の **保護シート** を引き抜いてください。

※ リモコンの赤外線発光部を、本体正面のリモコン受光部に向けて操作してください。



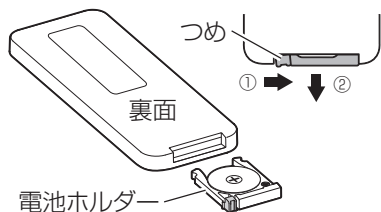
準備

■ 電池の交換方法

操作範囲がせまくなったり、操作ボタンを押しても動作しない場合は、新しい電池（CR2025）に交換してください。

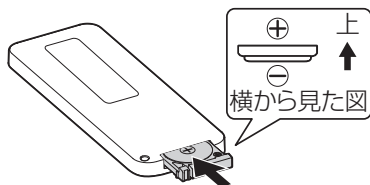
1 電池ホルダーを引き抜く

- ・ つめを矢印方向へ押さえながら、引き抜いてください。



2 新しい電池をセットする

- ・ 正しい向きにセットし、リモコン本体に差し込んでください。



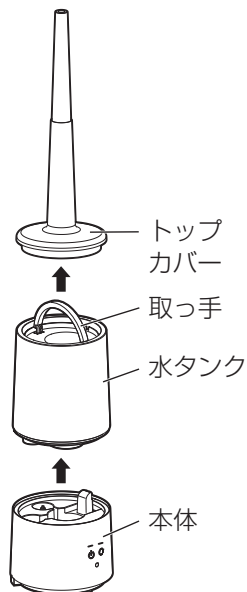
- ※ 電池の表裏を間違えないでください。
- ※ 使い終わった電池は、電池のパッケージに記載された廃棄方法、またはお住まいの自治体の取り決めにしたがって廃棄してください。



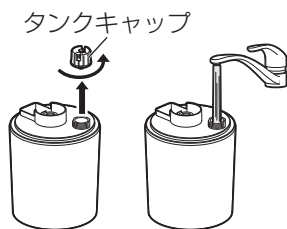
- 電池を誤って取り扱うと、破裂・液漏・やけど・周囲の汚損の原因になります。「電池についての注意」をよく読んで使用してください。

■ 水タンクに水を入れる

1 本体からトップカバー、水タンクを外す



2 タンクキャップを外し、水道水の水タンクに入れる



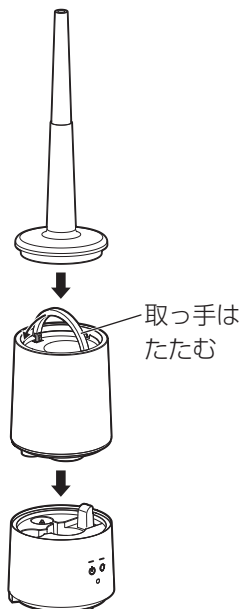
- 水タンクを持ち運ぶときは、水がこぼれて周囲を汚損することがないように、注意してください。また、タンク外側についた水滴は拭き取ってください。

つづく→

準備 つづき

3 タンクキャップをしっかりと閉め、水タンク、トップカバーを本体にセットする

※水タンクの底面が本体側の凹部にはまるように位置を合わせてセットしてください。



●必ず水道水を使用してください。40℃以上の水・汚れた水・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水などは使用しないでください。

●水に薬品・香料・精油などを入れないでください。



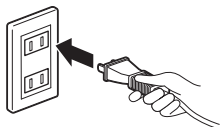
かびや雑菌が繁殖しやすくなったり、変形・ひび割れ・変色などをおこして水もれや周囲の汚損の原因になります。

●タンクキャップは確実に閉めてください。

タンクキャップがななめになっていたりゆるんでいたりとすると、水がこぼれて本体が故障したり周囲を汚損する原因になります。

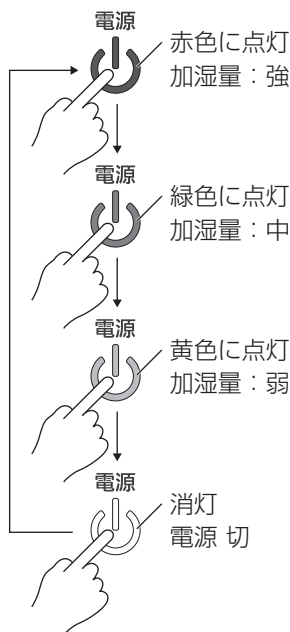
使いかた

1 電源プラグをコンセントに差し込む



2 加湿を開始する

電源ボタンを押すたびに、ボタンの点灯色が切り替わり、加湿量が切り替わります。



※リモコンで操作するときは、電源ボタンで運転を開始し、**モード切替**ボタンで加湿量を切り替えてください。
加湿を停止するには、電源ボタンを押してください。

■ 電源ランプが点滅したら

- ・運転中に水タンクの水がなくなると、電源ランプが赤色に点滅します。
- ※水タンク内側やトップカバーに付着している水滴が加湿器内部に落ちてくると、電源ランプが点滅を止め消灯することがあります。（加湿は再開しません。）



- ・水タンクに給水し、本体にセットしたら、再度電源ボタンで加湿量を選んでください。
- ※水タンク底面が本体側の凹部にはまるように位置を合わせてセットしてください。

- 水タンクを持ち運ぶときは、水がこぼれて周囲を汚損することがないように、注意してください。また、タンク外側についた水滴は拭き取ってください。
- 水タンクに給水しても電源ボタンが点滅するときは、水位センサーやタンクキャップのバルブを確認してお手入れしてください。（→P15）



注意

- 水タンクを本体から取り外すときは必ず電源を切ってください。
加湿したまま取り外すと水が周囲に飛び散ります。また超音波振動子付近に手を近づけるとけがをするおそれがあります。

使いかた つづき

■ 照明

- ・ 運転中に**照明**ボタンを押すと、ボタンが点灯するとともに、本体底面のライトが青色に点灯します。もう一度押すと消灯します。



お手入れ

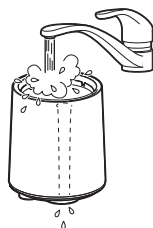
- シンナー、ベンジン、酸性・アルカリ性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。
- 汚れが落ちにくい場合は、薄めた台所用中性洗剤を使用してください。洗った後は、洗剤分が残らないようにしっかりすすいでください。

■ 水タンク 毎日

- 1 水タンクに少量の水を入れ、タンクキャップを閉めて振り洗いする



- 2 水タンク内側の加湿筒部分を流水で洗う

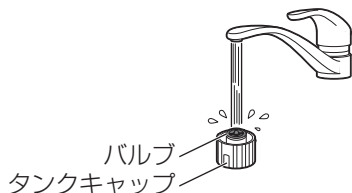


- ※ 水気はよく拭き取り、よく乾かしてから使用してください。
- ※ お手入れ後に水タンクをセットするときは、水タンク底面が本体側の凹部にはまるように位置を合わせてセットしてください。

■ タンクキャップ

水洗いする

※バルブにゴミがつまっていたりしないことを確認してください。



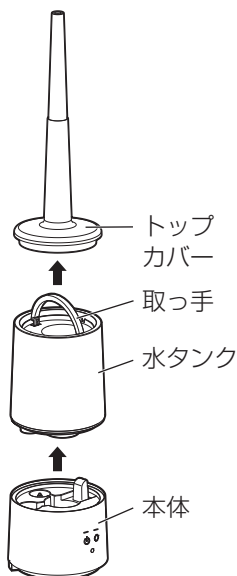
■ 本体 2週間に1回



注意

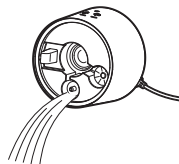
- 本体内部のお手入れは、必ず電源を切って、電源コードを抜いてから行ってください。
- 電源コードはぬれた手で抜き差ししないでください。
- 水洗いはしないでください。

1 本体からトップカバー、水タンクを外す



2 本体に残っている水を排水する

- 電源ボタンと反対側（水位センサー側）から排水してください。



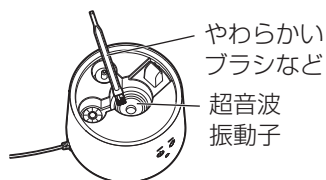
3 やわらかい布で拭く



- 水位センサーのフロートがスムーズに動くことを確認してください。スムーズに動かない場合は、綿棒などでまわりのごみを取り除いてください。



- 超音波振動子は、やわらかいブラシなどでやさしく掃除してください。
- ※ 汚れや傷が付くと、加湿量が低下したり、加湿しなくなったりします。



- 抗菌銀カートリッジは、取り出して水洗いした後、戻してください。

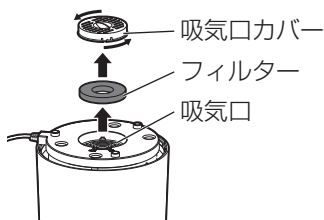


お手入れ つづき

■ 吸気口フィルター 1 か月に 1 回

1 吸気口カバーを外してフィルターを取り出す

- ・ 吸気口カバーは、**OPEN**の方向へ回して外してください。



2 フィルターを水洗いする



3 よく乾かしてから、元どおり取り付け

※ フィルターが破損・紛失した場合は、アイリスコールへご連絡ください。

故障かな？と思ったら

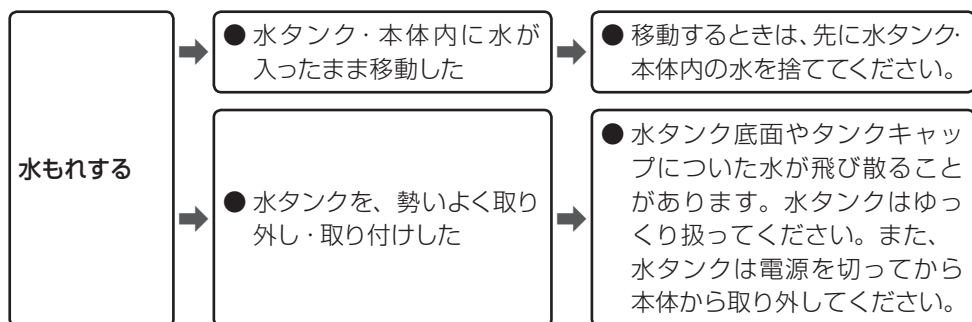
使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる原因	処 置
電源が入らない	● 電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていない	● 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
リモコンで操作できない	● 電池が消耗している	● 電池を交換してください。
	● 電池の向きが逆になっている	● 電池を正しい向きに入れてください。(→P11)
	● リモコン受光部とリモコンの間に障害物がある	● 障害物を取り除いてください。
	● リモコンが正しい方向を向いていない	● 5m以内の距離で、リモコンの発光部を本体正面のリモコン受光部に向けて操作してください。

故障かな？と思ったら つづき

加湿されない (電源ランプが赤色に点滅)	→ ● 水タンクの水を使い切った	→ ● 水タンクに給水してください。 (→P11)
	→ ● 水タンクが本体に正しくセットされていない	→ ● 水タンク底面が本体側の凹部にはまるように位置を合わせてセットしてください。
霧の出が少なくなった	→ ● 超音波振動子が汚れている(水あかなどが付着している)	→ ● やわらかいブラシで超音波振動子を掃除してください。
床がぬれる	→ ● 室温が低い	→ ● 室温が低いと床ぬれが起こりやすくなります。暖房などと併用して使用してください。
	→ ● 床の上で使用している	→ ● 床の上に直接設置すると床ぬれが起こりやすくなります。水平で安定した台の上などに設置してください。
湿度が上がらない	→ ● 部屋が適用床面積より広すぎる	→ ● 適用床面積以内で使用してください。(→P19)
	→ ● 窓やドアが開いている	→ ● 窓やドアを閉めて使用してください。
においがする	→ ● 本体内部や水タンク内部が汚れている	→ ● 本体や水タンクをお手入れしてください。(→P14～16)
	→ ● 水タンク内の水が古くなっている	→ ● 本体と水タンクの水を捨て、お手入れして、新しい水を入れてください。

故障かな？と思ったら つづき



それでも解決できないときは
お買い上げの販売店、またはアイリスコールへお問い合わせください。



警告

● 自分で分解・修理・改造しないでください。

仕様

定格電源	AC 100V、50 / 60Hz		
加湿量切替	強	中	弱
消費電力	22W	18W	14W
加湿量（±20%）	280mL / h	180mL / h	120mL / h
加湿時間	約11時間（強運転時）～約30時間（弱運転時）		
適用床面積（目安）※1	木造和室：7㎡（4.5畳）、プレハブ洋室：12㎡（7.5畳）		
タンク容量	3.0L		
製品寸法	幅175×奥行175×高さ757mm		
製品質量	1.3kg		

※1 最大加湿量で連続加湿した場合。適用床面積は、保証値ではありません。

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がありませんと、無料修理保証期間内でも代金を請求される場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書に記載されている期間です。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、5年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

超音波式加湿器 UHM-280C / UHM-280CM

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※ 年 月 日			保証期間	お買い上げ日より：1年間	
お客様	お名前			※販売店	住所・店名
	ご住所 〒				
	電話 () -				電話 () -

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡しください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料で修理または交換いたします。
 - 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
 - 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
 - ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
 - 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ①使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ②お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥本書の提示がない場合
 - ⑦本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 6 本書は日本国内においてのみ有効です。
7 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは

アイリスコール (通話料無料)

修理に関するお問い合わせは

修理専用コール (通話料無料)

0120-311-564

0800-170-7070

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAX でのお問い合わせは (通信料無料)

0800-888-2600

Web からの問い合わせは

<https://www.irisohyama.co.jp/support/>
メールフォームにご記入のうえ送信してください